



新型コロナ感染におけるいじめ・偏見防止について 校長 岩本 守

近隣の高等学校でのクラスター発生もあり、新型コロナの感染についてはいつ本校で起こっても不思議でない状況です。学校は感染予防を徹底し、生徒の意識を高めながら通常に近い形で授業や代替え行事を行うように進めています。引き続き、ご家庭でも検温や健康観察、そして迅速な学校への連絡などご協力をお願いします。

全国では新型コロナ感染による偏見や風評、いじめなどが発生していることが報道されています。本校でも折々にいじめや偏見防止についての指導をしています。9月16日、朝の会にて校長が臨時放送を行い、生徒にいじめや偏見をしないように話をしました。今後、学年事にいじめや偏見を題材にした道徳や学級指導を行う予定です。ご家庭でも同様の見識とご指導の程、切にお願い申し上げます。

<校長放送内容>

ニュース報道で聞いたかもしれませんが、千葉県立柏中央高校で新型コロナの集団感染クラスターが起きました。現在高校は休校し濃厚接触者を含めて検査をしている状況です。身近な地域の学校ですので、とても心配です。早期の回復を心から祈っています。このことは人ごとではなく、いつ東部中で起こってもおかしくはありません。どんなに感染の予防をしても、感染してしまうこともあります。

まず、一人ひとりが「自分がかからないようにする。」「周りの人にもうつさないようにする」という意識を高く持ち、努力は続けましょう。そのためには、マスクの着用・手洗いは徹底して下さい。マスクをしないで大声で話をするのは相手への思いやりに欠ける行動です。特に体育の授業前の昇降口の密、登下校時の昇降口での大声は控えましょう。また、通学路にマスクが捨てられていたことがあり、よく拾います。暑かったり、汚れてしまっという気持ちで捨ててしまったのかなと思いますが、とてもさみしい気持ちになります。

皆さんにお願いが2つあります。新型コロナ感染での偏見やいじめを絶対にしないということです。全国でいじめや偏見、差別が発生しています。とてもかなしいことです。

皆さん、もし、自分がかかってしまって、人から白い目で見られたり、無視されたりしたらどんな気持ちになりますか。大切な家族がかかってしまって、友達が自分の家族のことをこそこそとうわさばなしをしていたらどんな気持ちになりますか。

今、日本の危機を救っているのはお医者さんや看護師さんなど医療にかかわってくれる人です。もし自分に医療従事者の家族がいて、しかも偏見で見られているとしたらどんな気持ちになりますか。

ニュースでこういう差別もありました。

大学のラグビー部で50名のクラスターが発生した後、何も関係ない一般の学生のアルバイトが首になったり、教育実習が断られるということがありました。〇〇高校サッカー部でのクラスターが起こった時、地域の方から、〇〇校の生徒は小学生の通学路を通るなどという訴えがありました。

もし、自分がその立場だったらと考えるとどういった気持ちになりますか？

お互いに思いやりの心を持ち、憶測で変なうわさばなしをしたり、ラインでながしたり、仲間はずれにしたりなど、絶対にしないようにお願いします。もし、困っていたり、不安なことがあったら、どの先生でもいいのでひとりで悩まずに相談して下さい。また、周りで困っている人がいたらすぐに相談して下さい。先生方は皆さんを全力で守ります。

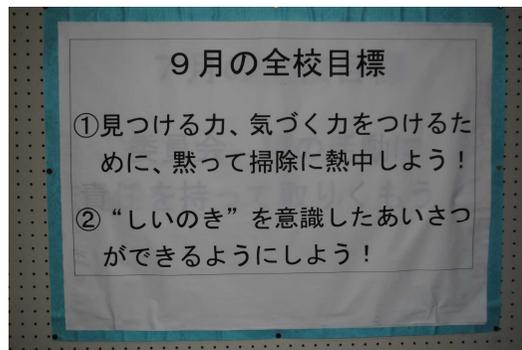
東部中学校の全校生徒が思いやりの心を持ち、みんなが笑顔で生活できるように一人ひとりががんばっていきましょう。

生徒会の取り組み（生徒会活動の柱として）

校長 岩本 守

生徒会活動は生徒の主体的な活動の場です。自分たちで考えを出し合い、課題を解決して更なる高みを目指す自治的な活動です。また、少人数の意見も大切にしながら、みんなで話し合いをして、決まったことは責任を持ってやりぬく。民主主義の基本を学ぶ機会でもあります。

今年度は、全校が一堂に会して、東部中学校の生活を見つめ直す生徒総会ができず、書面での生徒総会を行いました。活動の柱を「清掃」と決め、美化委員会を中心に全校で取り組んでいます。10分の清掃時間ですが、まずは無言で黙々と清掃すること。次に自分から進んで汚いところを見つけて取り組む、気づく心を目標にすること、そして最終的には周りの人のために応援したり、きれいにしたりと思いやりの心を大切にすることの3段階に分け、取り組んでいます。現段階は無言清掃という第1段階ですが、清掃時間は静寂の時間になってきています。これからの生徒のがんばりに期待しています。



美化委員長 3年 高橋 ちひろさん

今年度の美化委員は清掃の向上を目指し全校をあげてのプロジェクトを行っています。しかし、プロジェクトは思うように進まず、なかなか結果には表れてはいません。全体的に「6校時が長引いてしまい、清掃の開始の時間遅れてしまう」という反省点があります。でもみんなががんばってきたので、着実に良くなってきています。また、全員の心のこもった清掃を10分間一杯できていることも見られます。更にステップアップできるように、課題についてはみんなで改善策を考え、取り組みががんばっていきましょう。

生徒会長 3年 矢吹 美果さん

今年度は、休校の影響もあり例年と同じような活動を行うことができませんでした。その中でも生徒会活動の柱である「清掃向上プロジェクト」を中心に「挨拶向上」「災害支援活動募金」などを行い、全校が一丸となって目標達成のため取り組むことができました。私達の任期は残りわずかですが、2年生を中心とした新しい生徒会によりよい形で引き継ぎができるよう、そして椎木祭が大成功で終わることができるように最後までがんばりたいと思います。皆さん協力をお願いします。

